

平成31年(2019年)2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年2月 数量 (トン)	2019年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県(三浦)産・千葉県(銚子)産中心の入荷でした。入荷はやや減少しました。平均単価は大幅に安く推移しました。	548	75	96%	42%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。冷え込みの影響もあり、入荷は減少しました。平均単価は大幅に安く推移しました。	471	42	89%	23%
3		きゅうり	宮崎県産・茨城県産・千葉県産中心に群馬県産・埼玉県産の入荷でした。前半の不安定な天候の影響により、入荷はやや減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	250	373	94%	100%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。前進出荷の影響により、入荷はやや減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	97	459	95%	72%
5		馬鈴薯	鹿児島県産の長雨の影響により、入荷は減少しました。平均単価は安く推移しました。	344	116	88%	90%
6	果実	伊予柑	前進出荷と他市場からの集荷により、入荷はかなり増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	188	231	144%	97%
7		ふじ	天候不順等の影響により下級品の発生が多く、入荷はやや減少しました。平均単価も安く推移しました。	262	264	95%	84%
8		いちご	福岡県産・栃木県産中心の入荷でした。前進出荷と2月前半から半ばまでの冷え込みの影響により、入荷は減少しました。平均単価は高く推移しました。	158	1,608	89%	114%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上